

I. 大会実行委員会からのお知らせ

大会実行委員長
関口浩喜

1. 日本科学哲学会第41回(2008年度)大会〔会場：福岡大学・七隈キャンパス〕のプログラムについて

今年度大会のプログラムは、以下を予定しています。

*各プログラムの開始時刻、ワークショップ題目等の変更がありうることをご了承下さい。また今年度は例年と違い、シンポジウムを日曜日に、ワークショップを土日両日も開催しますのでご注意ください。

10月18日(土)

研究発表(10:00-12:00)

理事会・評議員会・大会実行委員会(12:00-13:15)

総会〔石本賞授与式〕(13:20-13:50)

ワークショップ(14:00-16:15)

I. 行為論の新展開——行為者性と権威性をめぐって——

オーガナイザー：野矢茂樹(東京大学)

提題者：竹内聖一(東京大学グローバルCOE研究員)、早川正祐(東京大学)、
河島一郎(無所属)

II. 現代のオントロジーとその源流

オーガナイザー・提題者：倉田剛(九州国際大学)

提題者：齋藤暢人(早稲田大学)、植村玄輝(慶應義塾大学)、富山豊(東京大学)

特別講演(16:30-17:30)

講演者：白川琢磨(福岡大学人文学部教授)

懇親会(18:00-20:00)

10月19日(日)

ワークショップ(9:30-11:45)

III. 心理学方法論の再検討

オーガナイザー・提題者：戸田山和久(名古屋大学)

提題者：岩月拓(名古屋大学)、唐沢かおり(東京大学)、山口裕幸(九州大学)

IV. 様相論理の『意味論』再考——クリプキ意味論を超えて——

オーガナイザー：矢田部俊介（産業技術総合研究所）

提題者：竹内泉（産業技術総合研究所）、小山虎（慶応大学）、佐野勝彦（京都大学）

理事会・編集委員会・大会実行委員会（11:45-12:45）

シンポジウム（13:00-15:30）

研究発表（15:30-17:30）

2. 研究発表の募集について

今年度大会の研究発表の希望者を募ります。希望される方はeメール添付のファイルか郵送にて、発表要旨〔B5 版用紙 1 枚にワープロで 800 字程度、上部に題目・氏名・所属を明記のこと—採用の際はご提出頂いた原稿をそのまま予稿集の版下とします—〕を事務局宛にお送り下さい。この時メール本文もしくは別紙に、研究発表に際してプロジェクト等の機器を使用する予定の有無についてもお書き添えください。

締切は 8 月 23 日（土）必着とします。

なお、電子データ（eメール上での添付ファイルまたはフロッピーディスク）でお申込される場合は、本学会ホームページで「第 41 回大会 研究発表要旨作成上の注意」を公開しておりますので、こちらもご参照願います。

採否ならびに発表の通知は 9 月 5 日頃に eメールで行います。メールアドレスをお持ちでない方には郵送いたしますので、送付先を明記くださるようお願いいたします。

発表期日および時刻は、プログラム編成の観点から大会実行委員会で決定いたします。特定の日付・時刻を希望されても応じられませんのでご承知おきください。

3. お子さん連れで大会へ参加される方のために——託児施設利用にあたっての補助金申請について

ニューズレター No.40 で丹治会長からお知らせしたとおり、今年度より、お子さん連れで大会へ参加され、開催時間に一時託児施設（ポポラー全日空ホテル園 [博多全日空ホテルチャペル館内]、等）を利用される会員に対して、補助金を支給することとなりました。

今年度は以下の要領で申込を受け付けます。

- (1) 補助金額は、1 会員につき、お子さん 1 人あたり 1 日 5000 円とします。
- (2) 9 月中に希望者用申請フォームをホームページに掲載しますので、ご記入の上 10 月 6 日までに事務局までお送り下さい。補助金については、大会終了後に利用施設の領収書（またはそのコピー）を提出していただき、後日お振込いたします。ただし、事情により大会当日の支給を希望される場合は事務局までご相談下さい。
- (3) その他ご質問等は事務局までお願い致します。

また託児施設を利用されない場合も、大会会場内にお子さん連れの会員のための休憩スペースを準備しますので、ご自由にお使いください。但し、開催期間中のお子さんの安全については、各会員で責任をもって監督してください。

詳細はホームページへ順次掲載しますので、随時ご確認をお願い致します。

4. 宿泊手配等について

会場近辺の宿泊について、旅行代理店(株)日本旅行 九州イベントコンベンションセンターが予約手配を承ります。学会ホームページに予約用 Web ページへのリンクを貼りますので、ご希望の方は各自お手続きください。その他詳しくは学会ホームページ掲載のパンフレットをご覧ください。

*今年は大会と同日に、会場の福岡大学および周辺にて、資格試験その他の催しが開催される模様です。宿泊等については早目の手配をお勧めいたします。

5. プログラムの発送について

プログラム、出張依頼状等は9月下旬頃に発送いたします。シンポジウムおよびワークショップ資料はホームページに掲載の予定です。

II . 編集委員会からのお知らせ

編集委員長
野矢茂樹

1. 『科学哲学』第41巻2号(2009年1月発行予定)の特集テーマについて

ニューズレター No.39 でお知らせした次号の特集テーマ「非合理性とは何か」への応募論文は、2008年7月11日をもって締め切りとなりました。ただし、自由応募論文として同じテーマに関連する論文をご投稿いただくことは、引き続き可能です。その際、次号に掲載可能な期日内で審査を終えることができない場合がありますのでご承知おきください。

2. 自由応募論文について

自由応募論文は随時受け付けています。なお、論文本体(これはレフェリーに転送されることになります)には論文タイトル(日本語と英語)と英文要旨のみを付けることとし、著者氏名と所属については、別に添付した表紙に記して下さるようお願い申し上げます。

〒192-0397 首都大学東京大学院 人文科学研究科 哲学教室内
日本科学哲学会事務局

fax. 042-677-2073 (「日本科学哲学会」宛であることを明記して下さい。)

e-mail. philsci@comp.metro-u.ac.jp

URL. <http://wwwsoc.nii.ac.jp/pssj/index.html>